

# 富士山麓で 大型アマゴを追う

御殿場市から小川へ至る鮎沢川は、アマゴ釣りに人気を博している川。市街地から約10キロ離れたところ、紅葉に彩られた川沿いに、スロートです。「アマガゴ」とも呼ばれる鮎沢川のアマゴは、体長30cmを超え、最大の特徴は、何と云ってもその大きさ。体長30cmを超える大型のものは「オニアマゴ」と呼ばれていて、鼻が曲がった顔つきは、普通のものとは思えないほど野性味にあふれています。



## 鮎沢川

アマゴ釣り(エリ・ルアー・フライの平均的)の解禁期間は3月第2日曜～9月末。老漁師はインクゴロ製菓店ほか地元店舗で販売。11月中旬～2月下旬はニジマスのお季キャッチ&リリースも解禁中。

鮎沢川漁業会 090-8865-0414 ①年費 大人 3000円・高校生以下 2000円。日釣りは 1000円(現地券) 500円(他)。



「あしがらふれあい公園」のあしがら川



振り出し式の竿は状況によって長さを変えられて便利

### 春に真にアマゴ解禁！アグセスも良好

「深流の女王」ともいわれるアマゴは、美しいパーマータクと朱点が特徴的な魚。御殿場市から小山町へと流れる鮎沢川は近年、アマゴ釣りのスポットとして注目を集めている川です。最大の特徴は、何と云ってもその大きさ。体長30cmを超える大型のものは「オニアマゴ」と呼ばれていて、鼻が曲がった顔つきは普通のものとは思えないほど野性味にあふれています。

解禁期間は毎年3月の第2日曜日から9月までで、エサ釣り、ルアー釣り、フライ釣りの3種が楽しめます。追加放流も毎月行われていて、解禁日には大会も開かれています。ですので、今回はアマゴ釣りのポイントも、エサ釣りを中心に紹介したいと思います！

JR足柄駅の近くにある「足柄ふれあい公園」と、御殿場アウトレフト近辺の「牛淵」が好アグセスです。特に「あしがらふれあい公園」にはトイレもあるので初めての人でも安心です。遊漁券はインクゴロ製菓店

ど近隣店舗のほか、インターネットで購入できます。

竿は状況によって太さを選べられるように、振り出し式の深流竿を使用。川床の広いふれあい公園では6m、木が生い茂っている牛淵では4・5mにすると扱いやすくなります。天井糸も長さの調節が可能な遊漁式をチョイス。アタリを分かりやすくするため、ミチイストには目印を2〜3個付けます。付ける位置

この文章はがミーです

この文章はがミーです



深流釣りスタイル

**TARGET**  
アマゴ  
*Oncorhynchus masou*  
サケ目サケ科

